

誌代の値上げをせねばならぬとのこ

とである。紙の値上がりが急激であり、来年度の紙を確保するのが困難なほど、紙が不足している由である。誌代の値

上げも、もつともなことだと思う。

それほど紙が不足しているならば、紙を節約することもたいせつであろう。

最近、十数年間、使い捨ての消費時代

がつづいた。個人の経済の観点からい うならば、使い捨てでもよいかもしけない。しかし、限りある資源のことを考えたら、節約してたいせつに使うことが必要であろう。

印刷物も、分量が多ければよいとい うものではない。無駄な印刷物が多いのも、現代の特色である。

誌代の値上げの話があつたとき、私はただちに、ページ数を減らすのがよいと思った。ページ数が多いと、どうしても、枚数をうめるのに苦労するところが多くなる。この雑誌のように、幼

児教育の本質にふれたことを、じつく

りと考えていくことを本来の使命とする印刷物は、むしろ、ページ数が少ない方がよいのではないか。できるなら

ば、月によってページ数を増減できる

なら、なおよいと思うが、これは印刷手続き上の問題を伴うので、簡単には実現できないらしい。

こういうわけで、来月号からページ数が八ページ減になり、定価も少し値

上がりになる。

大きな会合よりも、小さな会合の方が、実質的なことが多く、大きな幼稚園よりも、小人数の幼稚園の方が、内

容的に充実していることが多い。規模が大きくなるのがよいことだという通

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一
お茶の水女子大学附属幼稚園内

編集兼 津 守 真
発行者
112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一
お茶の水女子大学附属幼稚園内
日本幼稚園協会

東京都板橋区志村一ノ一

印刷所 凸版印刷株式会社

101 東京都千代田区神田小川町三ノ一
発行所 株式会社 フレーベル館
振替口座東京一九六四〇番

◎ 本誌御購読についての御注文は発売所 フレーベル館にお願いいたします

幼児の教育 第七十二卷第十二号

十二月号 定価一二〇円

昭和四十八年十一月二十五日印刷
昭和四十八年十二月 一日発行

112 東京都文京区大塚二ノ一ノ一
お茶の水女子大学附属幼稚園内
日本幼稚園協会